

## 第3分科会(まちづくり・産業・環境・防災)意見及び将来像

### ■まちづくり

- 目的型サービスエリア(東名高速など)がある
- 電車の時間帯が延長されている
- 歩きたばこの禁止エリアがまち全体に広がっている
- 吸殻入れのアイデアが充実していてポイ捨てる人がいないまち
- 蓮田病院がまちの中核になっている
- 保育所や幼稚園が充実していて安心、安全を感じられるまち
- 若い世代が安心、安全を感じて住めるまち
- 女性が活躍しているまち
- 自治会と連携した子どもと高齢者が交流できる行事が充実している
- 調整区域の住み分けができている方向性の示されたまち

## 第3分科会(まちづくり・産業・環境・防災)意見及び将来像

### ■まちづくり

- ランドマーク(シンボル)になるような駅前高層マンションがある
- 駅周辺の道路が賑わっている
- 世帯用アパートが整備されていて若者が住みつきやすい
- スマートインター化とその周辺が整備されている

## 第3分科会(まちづくり・産業・環境・防災)意見及び将来像

### ■産業

- 午後採れ野菜直売所がある
- 農業参加型と自立型が両立して土地が整備されている
- 小規模で毎週オープンしている直売所があるまち
- 商工会が連携し、活性化された商店街がいくつかあるまち
- 野菜の直売所があるサービスエリアが整備されている

## 第3分科会(まちづくり・産業・環境・防災)意見及び将来像

### ■環境

- 歩道が整備されている
- 自転車道路の整備がされている
- 自転車マナーが行き届いている
- 生活道路が優先して整備されている
- 駐車する車を誘導できる取り組みがある
- 通学路の安全が保たれている
- 自然をもとにした子どもと高齢者が交流できるイベントが開催されている
- ウォーキングコースや食生活などあらゆる健康が推進されている
- 自然と常に触れ合える、整備の行き届いたまち
- 都心近郊であり、住宅地と自然が共存しているまち

## 第3分科会(まちづくり・産業・環境・防災)意見及び将来像

### ■防災

- みんなが情報(メールやネット)を把握している防災力のあるまち
- 防災意識が高い自治会がたくさんできている
- 防災連絡協議会が充実している

# 第3分科会(まちづくり・産業・環境・防災)意見及び将来像

《資料》

## 【まちづくり】

- 街の顔である駅周辺地区とともに幹線道路沿道にぎわいの創出や活性化を！  
※ 特にのくぼ通り、西口通り線や東口黒浜線の沿道の活性化
- 住宅地ゾーン、工業・流通系ゾーン、農地ゾーンなどの計画的な棲み分け（いわゆる都市計画）の継続と充実
- 日々生活する上で必要なスーパーが撤退しないように側面的支援（メガドンキ、マイン、マルエツ、マミーマートなど）  
※ さらに買い物難民を解消するための側面的支援の在り方検討
- 中核的な医療施設である「蓮田病院」「一心会病院」の拡充支援
- 若い世帯が定住しやすいように、世帯用アパートの建設促進策を  
※ 保育所や幼稚園などの強化、小中校の教育水準レベルアップなどと共に
- 幹線道路の整備と主要な道路への歩道確保とともに、通学路の整備改善、住宅地内のゾーン30導入、場合によっては一方通行路の設定（歩道帯の設置）
- 駅周辺、市役所やはすとびあなどの公共施設と病院、主要スーパーなどが交流、連携、情報発信できるような取り組みを  
※ 例えば市内循環バスなどの充実化  
※ 駅施設への告知板の拡充
- 駅前団地などの高層化に向けた可能性検討（低層階に医療施設や介護施設などを）
- 蓮田市の「住みやすさ」「自然と共存する住宅地」のアピールの充実  
※ 都市近郊にあって住宅地と自然環境が共存、交通利便性の良さ、高崎線沿線より土地を購入しやすい
- 蓮田サービスエリアへの地産直売所の設置要望
- 高齢者が駅周辺に住み、若い世帯が駅から離れた場所に安く住めるような仕組みづくりの検討

## 【産業】

- 工業・流通系団地の創設促進と企業誘致  
※ 高虫地区の進捗促進  
※ 新蓮田サービスエリア（上り線）へのスマートインター設置拡充とその周辺への工業系団地の創出
- 商工会と連携強化した商店街の活性化（店主の意識改革も不可欠）
- 農業後継者不足に対応したグループ化・法人化・大規模化の検討
- 休耕田や休耕畑の解消策を進める

# 第3分科会(まちづくり・産業・環境・防災)意見及び将来像

《資料》

## 【環境】

- 都市近郊にありながら住宅地と自然が共存する蓮田市の特色をさらに伸ばし、人を呼び込めるような、自然環境の更なる維持及び展開
  - ※ 元荒川の桜の維持・展開
  - ※ 屋敷林や平地林の保全
  - ※ 見沼用水沿いの水辺環境の保全整備
  - ※ 黒浜沼や柴山沼周辺の整備（川越の伊佐沼のような）
  - ※ 農業風景の保全
  - ※ 周辺環境の悪化をもたらず残土置き場や解体業等への立地規制強化
- 生活環境を向上と河川水質の向上をもたらす、公共下水道・農業集落排水・合併浄化槽の更なる促進
- 交通の便の良さをさらにPRするための、宇都宮線の通勤快速の停車、始発と終電の時間見直し
- 子供から高齢者まで使える公園の整備・再整備
  - ※ ストレッチ施設の設置、キャッチボールやサッカー可能な囲い、散策出来る公園など
- 健康寿命を延ばすための、市内外のウォーキング・モデルコースの設定とウォーキングに対する市全体の取り組み
- 歩きたばこ禁止区域の設定と禁止徹底
- 住宅地内及びその周辺での焚火（野焼き）の規制強化
- 駅周辺部に限定した駐車規制区域の見直し

## 【防災】

- 個人レベルで防災意識を強く持てるよう、防災意識の向上に市全体で取り組む
  - ※ 災害が少ないという認識があるが、熊本県のような事例もある
  - ※ 綾瀬川活断層の存在、気候変動による集中豪雨の多発など（水の出やすい住宅地対策）
- いざという時に必要な、自主防災組織を結成する自治会を増やす
- 夜道も安全に歩けるよう、街灯のLED照明への転換促進（新たな費用負担のない形で）とともに、増設